

障害者権利条約生かせ

京都 自立支援法10年を検証

障害者自立支援法成
立・施行の10年を検証

するセミナーが10日、
京都市中京区で開か
れ、180人が参加し
ました。主催は「障害
者自立支援法に異議あ
り！ 応益負担反対実
行委員会」。

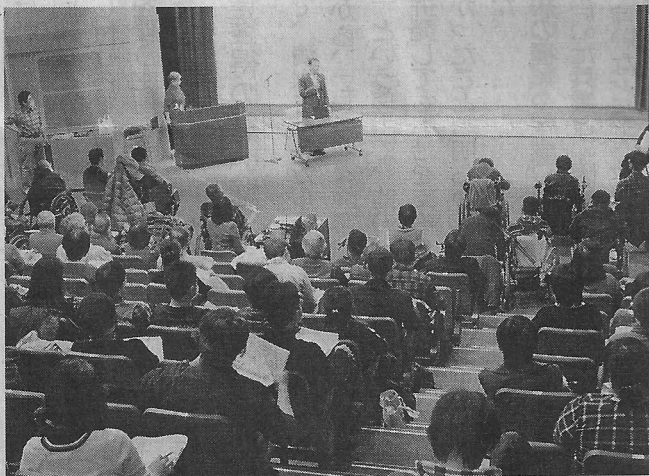
セミナーでは、障害
者が65歳になると障害
者福祉施策から介護保
険制度へ移行しなければ
ならず自己負担が増
える問題や、障害福祉
サービスの報酬制度の
改悪が事業所の経営を

圧迫している実態が報
告されました。

障害者自立支援法違
憲訴訟の元原告・中川
道代さん(63)は「政
府と応益負担の廃止を
約束した基本合意や骨

格提言はどこに行った
のか。障害者権利条約
とは逆の施策だ」と訴
えました。

日本障害者協議会の
藤井克徳代表、立命館
大の峰島厚特任教授、



藤井氏の講演を聞く人たち＝10日、京都市中京区

佛教大学の鈴木勉教授
が講師を務めました。

藤井氏は、経済効率
を優先し、障害者権利
条約からかけ離れた施
策を進める政府を批

判。「個人の権利を大
切にする憲法擁護をよ
り確固たるものにしま
しょう」と、平和運動

と障害者運動の結合を
呼びかけました。